



↑ かまいしの污水処理(平成27年度末)

1. 経過と現状

釜石市の公共下水道は昭和32年に雨水の排除を主目的として事業着手されました。事業変更により污水处理施設を加えて、大平処理区で昭和53年、上平田処理区で昭和55年度から処理を開始しています。農業集落排水処理施設は栗林で18年度に開始しています。また唐丹漁業集落排水施設は平成28年度に供用開始する予定です。その他の区域も順次整備を進めてゆく予定です。

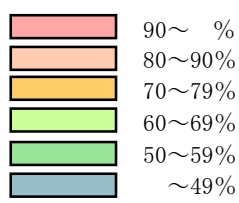
排除方式は、中妻排水区の一部約37haのみが合流式、他は分流式です。合流区域では改善計画を進めています。

2. 普及率

釜石市の污水处理人口普及率は80.2%で、県内35市町村中10位です。内訳は、公共下水道が61.0%(21,686人)、合併処理浄化槽が17.1%(6,072人)、農業集落排水処理が2.1%(743人)です。

3. 雨水排水

雨水排水ポンプ場は、鶴住居が昭和57年度から、鈴子が平成11年度から供用されています。



↙ いわたの普及状況

平成27年度末県内各自治体の污水处理人口普及率です。平均は79.0%で、全国36位、東北では5位という低い値です。岩手県では「いわて污水適正処理ビジョン2010」により、公共下水道の他、農漁業集落排水処理、合併処理浄化槽等の合計で、平成30年度末水洗化人口割合77%を目標としています。